

大震災と 子どもの貧困 白書

「なくそう! 子どもの貧困」
全国ネットワーク

編

3・11後、子どもたちとともに
未来にあゆみだすための第一歩
被災地域の人々とともに次世代に残す渾身の記録
震災は、貧困を生み、貧困をあぶり出し、
貧困を深刻にし、そして、貧困を置き去りにします。
貧困を放置してきたことが、震災被害を拡大させています。
がれきと汚染土壌の下に貧困がある

● 編集委員代表

湯澤直美

立教大学コミュニティ福祉学部教授
「なくそう! 子どもの貧困」全国ネットワーク共同代表

● 編集委員

小野寺けい子

盛岡医療生活協同組合理事長・川久保病院小児科医師
こどもの“ふつつ”を考える福祉・教育・医療の会

賀屋義郎

民主教育をすすめる宮城の会事務局長
東日本大震災復興復興支援みやぎ県民センター事務局長

丹波史紀

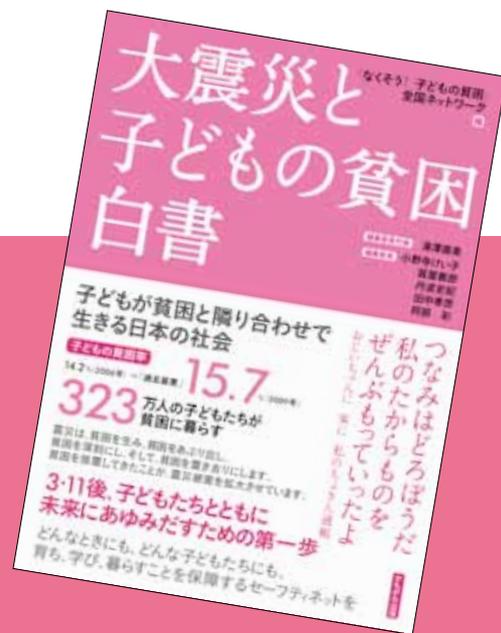
福島大学行政政策学類准教授・福島大学災害復興研究所
反貧困ネットワークふくしま共同代表

田中孝彦

武庫川女子大学教育研究所教授／日本臨床教育学会震災調査準備チーム

阿部 彩

国立社会保障・人口問題研究所／社会保障応用分析研究部長



定価3150円

contents

第I部 大震災と子どもの貧困

- 1章 震災があぶり出した子どもの貧困
1●子どもの育ちと暮らしの現場から
2●子どもが生きるための権利保障
- 2章 子どもたち・若者たちから
- 3章 子ども・家庭への支援
- 4章 震災と子どもの貧困を考える

第II部 子どもの貧困2011

- 5章 「過去最悪」子どもの貧困率15.7%
- 6章 子どもの貧困解決政策へ

かもがわ出版

〒602-8119 京都市上京区堀川通出水西入
info@kamogawa.co.jp

TEL 075-432-2868
FAX 075-432-2869

B5判／並製／364ページ
定価3150円

注文書

書店印(条件:注文)

震災と子どもの貧困白書

ISBN 978-4-7803-0521-0 C0036 ¥3000

部

かもがわ出版

お名前(フリガナ)

おところ(〒)

TEL

★ご注文は、お近くの書店、または弊社宛てお願いいたします。

写真メッセージ つなみはどろぼうだ ● 岩手の子どもたち
はじめに—大震災と子どもの貧困をつなぐ ● 湯澤直美

第I部 大震災と子どもの貧困

1章 震災があぶり出した子どもの貧困

1 子どもの育ちと暮らしの現場から

[岩手 中学校]
きみたちに教わること 嶋崎幸子 ● 岩手県宮古市立田老第一中学校教諭
[岩手 小学校保健室]
今を生きる子どもたちとともに 濱 ゆり ● 岩手県公立小学校養護教諭
[福島 保育所]
放射能災害から子どもを守る若 齋藤美智子 ● わたり福祉会 さくら保育園 園長
[福島 子育て支援センター]
関係づくりで支える母親の居場所 江刺多恵子 ● わたり福祉会 さくら子育て支援センター所長
[岩手・宮城・福島 学童保育]
どんなときにも子どもと家庭を守る 真田 祐 ● 全国学童保育連絡協議会事務局次長
[岩手 児童家庭支援センター]
求められる日常のネットワーク 船野克好 ● 大洋会 児童家庭支援センター大洋
[福島 就学援助・学校事務]
浮き彫りにされた教育費思想の貧困 松本義一・鈴木久之 ● 福島県学校事務職員制度研究会
[福島 スクールソーシャルワーク]
がれきと汚染土壌の下に貧困がある 鈴木庸裕 ● 福島大学大学院人間発達文化研究科教授
[宮城 高等学校]
給付制奨学金は1本の命綱 高橋正行 ● 宮城県高等学校・障害児学校教職員組合執行委員長
[青森 水産高等学校]
海を愛する生徒を育てたい 田村儀則 ● 青森県立八戸水産高等学校教諭
[宮城 高等学校保健室]
高校生も担った地域の医療拠点・保健室 千葉久美子 ● 宮城県石巻高等学校 養護教諭
[宮城 児童自立援助ホーム]
支え合う大切さを知った震災体験
五十嵐詩織 ● 東北福祉会 せんだんの杜 児童自立援助ホームせんだんの家 児童指導員
[東北6県 津波遺児支援]
悲しみに寄り添い生活の支援を 富樫康生 ● あしなが育英会東北事務局
小笠原鮎美・山下高文 ● 奨学生
[宮城 父子家庭支援]
孤立する被災父子家庭の声を聞いて 村上吉宣 ● 宮城県父子の会代表
[福島・東京 母子家庭支援]
震災・被ばく・失業・ストレス… 赤石千衣子 ● NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ
[宮城 女性支援]
ジェンダー問題のターニングポイント 草野祐子 ● みやぎジョネット事務局長

2 子どもが生きるための権利保障

[岩手 医療支援]
医・職・充の保障を 小野寺けい子 ● 盛岡医療生活協同組合理事長／川久病院小児科医師
[宮城 保育所]
ライフラインとしての公的保育 安達喜美子 ● 宮城県保育関係団体連絡会
[福島 児童デイサービス]
なぜ差がある? 子どもの放射能対策 片平史子 ● わたり福祉会 児童デイサービスさくら 所長
[宮城 学童保育]
壊された子どものあたりまえの生活 池川尚美 ● 宮城県学童保育緊急支援プロジェクト
[宮城 就学援助]
義務教育を完全無償に 芳賀 直 ● 宮城県学校事務職員制度研究会
[宮城 地域と学校統廃合]
進む学校統廃合と住民運動 徳水博志 ● 宮城県石巻市立雄勝小学校教諭
[宮城 特別支援学校]
障害児学校はセーフティネットを担ったか
佐久間 徹 ● 宮城県高等学校・障害児学校教職員組合 障害児学校部長
[福島 高等学校]
原発災害下、サテライトで学ぶ高校生は 草野芳明 ● 福島県立高等学校教職員組合副委員長

2章 子どもたち・若者たちから

力を合わせて母校をふっかつさせよう ● 宮城県石巻市立門脇小学校卒業生
飯館校生の主張 ● 福島県立相馬農業高等学校飯館校
生きるよろこび・わずれない ● 宮城県石巻高等学校書道部
写真でまちを元気に ● 茨城県立鉾田第二高等学校写真部
高校生から見た東日本大震災 ● 宮城県気仙沼高等学校生徒会

3章 子ども・家庭への支援

[宮城 幼稚園]
幼稚園舎再建へ、1歩でも前へ
佐藤宏美 ● 関上わかば幼稚園教諭 菊池富紀子 ● 関上わかば幼稚園園長
[宮城・福島・岩手 病児支援]
アレルギー性疾患がある子どもへの支援
赤城智美 ● 認定 NPO 法人アトピッ子地球の子ネットワーク 事務局長

[父子家庭支援]
父子家庭のおとな支援を 片山知行 ● NPO 法人全国父子家庭支援連絡会代表理事
[宮城 学習支援]
学習支援におけるアプローチの多様性
本山敬祐 ● 東北大学大学院教育学研究科 博士後期課程
[宮城 学習支援]
10年後の社会に向けたモデルを 大橋雄介 ● NPO 法人アスイク 代表理事
[宮城 子ども支援・ネットワーク]
震災と子どもの権利を考える 小林純子 ● 特定非営利活動法人チャイルドラインみやぎ 代表理事
[北海道 被災者支援]
未来は私たちの足元にある
みかみめぐる ● 東日本大震災市民支援ネットワーク・札幌 むすびば共同代表
[岩手・宮城・福島／東京 学力保障]
夢をあきらめる子どもを1人も出さない
片貝英行 ● 特定非営利活動法人キッズドア 事務局長兼復興支援担当
[ネットワーク]
復興に子どもの声を届ける 谷川由起子 ● NPO 法人子どもの権利条約総合研究所
[岩手・宮城・福島 子ども参加促進]
子どもにやさしい地域づくり 津田知子 ● 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
[子どもの学び支援]
文科省 学び支援ポータルサイト 林 大介 ● 文部科学省 生涯学習政策局政策課 専門職

4章 震災と子どもの貧困を考える

[岩手 貧困を考える]
低所得の町に生きる 湊 大 ● 岩手県立中学校教諭
[岩手 児童養護施設]
将来の社会的養護を支える子に 藤澤 昇 ● 岩手愛児会会長／みちのく・みどり学園園長
[宮城 学校・子ども支援]
復興と総合的な子ども支援 賀屋義郎 ● 民主教育をすすめる宮城の会 事務局長
[子ども参画・まちづくり]
子どもが元気に育つまちづくり支援
小澤紀美子 ● 東海大学教授／NPO 法人こども環境活動支援協会代表理事
[岩手・宮城・福島 保育所]
保育所の役割と使命を再考する 天野珠路 ● 日本女子体育大学准教授
[福島 放射能災害調査]
放射能汚染からの避難と「災害弱者」 丹波史紀 ● 福島大学行政政策学類准教授
[福島 学校・地域]
学校には人々をつなぐ力がある 境野健児 ● 福島大学特任教授
[子ども・教師・学校]
大震災と学校の再生 田中孝彦 ● 武庫川女子大学教育研究所教授

第II部 子どもの貧困2011

5章 「過去最悪」子どもの貧困率 15.7%

[相対的貧困率]
子どもの貧困率の動向
阿部 彩 ● 国立社会保障・人口問題研究所 社会保障応用分析研究部長
[遺児・孤児支援]
遺児2600世帯 震災・不況で貧困深刻に 小河光治 ● あしなが育英会理事・奨学課長
[学費・教育費問題]
教育費にみる子ども・若者の貧困 中嶋哲彦 ● 名古屋大学大学院教育発達科学研究科教授

6章 子どもの貧困解決政策へ

1 高校無償化問題

無償と言いつつ2000名授業料徴収
坂本次男 ● 日本高等学校教職員組合(日高教) 中央執行副委員長
高校生から見た高校授業料無償化(不徴収)
鈴木敏則 ● 「お金がないと学校に行けないの?」首都圏高校生集会実行委員会 代表世話人
公私間格差をなくし誰でも自由に学べる条件を
永島民男 ● 全国私立学校教職員組合連合(全国私教連) 中央執行委員長

2 子ども手当を考える

子どもの貧困と「子ども手当」
阿部 彩 ● 国立社会保障・人口問題研究所 社会保障応用分析研究部長

3 奨学金問題

「希望の灯」となる奨学金制度を
岡村 稔 ● 日本学生支援機構労働組合書記次長
貧困家庭の子どもたちの未来に希望を一あしなが育英会 第23回遺児と母親の全国大会より
海野佑介 ● 第23回遺児と母親の全国大会会長

ぼくの放射NO!日記 ● 福島・中学生

① 2011年3月11日／② 3月12日／③ 4月・新学期／④ GW・5月／⑤ 7月・夏休み
⑥ 8月の終わり／⑦ 2学期／⑧ 2012年これから

あとがき—子どもたちを「ふるさと」再生の主人公にできるか ● 丹波史紀